

専門課程シラバス

授業科目	成人看護学実習			担当者	高橋美由紀		
開講時期	2年後期	授業の方法	実習	単位数	2	時間数	90
授業概要	<p>対象を統合的に理解し、対象とその家族の成長・発達を促し、発達課題を達成していけるよう、独自性を尊重した看護援助を実践するための知識・技術・態度を修得する。</p> <p>対象の健康の保持・増進、疾病の再発予防、健康の回復、安寧な死など健康や障害の状態に応じて、対象が健康的な生活を営み、その人らしく生きることを支援するための知識・技術・態度を修得する。</p> <p>看護過程の展開をすることで看護の実際を学び、自己の看護観を深める。</p>						
授業計画	<p><実習前></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習1か月前にオリエンテーション(透析室の現地オリエンテーションを含む)を受け、実習目的・目標を確認し、実習病棟の診療科の看護を含めた事前学習を整える。 ・成人看護学実習における自己の目標・課題を明確にする。 <p><実習1週目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・初日に手術室・ICU・地域医療連携室のオリエンテーションを受ける。 ・実習2日目に病棟オリエンテーションを受け、受け持ち患者を決定し情報収集を始める。 ・担当患者の情報収集・アセスメントから看護計画案を立案する。 <p><実習2週目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け持ち患者の看護計画に沿って実施・評価を行い、看護過程を展開する。・中間評価を行い、実習目標に到達する方法を教員と見直す。 ・症例カンファレンス・安全カンファレンスを行い、グループで共有しながら学ぶ。 <p><実習3週目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け持ち患者の看護過程の展開を継続する。・透析室実習にて、慢性期の対象の看護及び多職種との協働における看護師の役割の実際を考える。 ・成人看護学実習を振り返り、自己の課題を明確にできる。 						
テキスト参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・系統看護学講座 成人看護学 ①～④, 医学書院, 2017. ・系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論・各論, 医学書院, 2018. ・系統看護学講座 別巻 緩和ケア, 2018. ・系統看護学講座 別巻 がん看護, 2018. ・中西純子, 石川ふみよ 編:リハビリテーション看護論 第2版, ヌーヴェルヒロカワ, 2017. 						
成績評価の方法	<p>成人看護学実習の到達度基準に従い、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後までの学習状況から、学生・教員(臨地実習指導者所見含む)で評価を行い、60点以上を合格とする。</p>						